

学校教育目標

『思いやりの心もち すすんで学び たくましく生きる子どもの育成』

- 思いやりの心もち、相手の身になって行動できる子ども (徳…やさしく)
- すすんで学び、豊かな思考力と表現力をもつ子ども (知…かしこく)
- 健康でたくましく、最後までやり遂げる子ども (体…たくましく)



2学期が始まって20日ほどが経ちました。学校では、話をきちんと聞く、雑巾がけにきちんと雑巾をかける、教室を移動するときには机に椅子を入れる、教師も子どももチャイムで行動するなどといった当たり前のことが当たり前に行えることを大切にしながら、日々の指導を重ねてきました。現在、学校では、落ち着いた生活が展開されています。

また、先週は、3年のミュージアムツアー、4年の天文学習、障がいのある方との交流、5年の稲刈り、6年の走り方教室といった行事がありました。子ども達は普段の教室の授業では学べない貴重な体験を行うことができました。来週は、6年生が修学旅行に出かけます。

走り方教室（6年）

6年生は、10月5日に本城陸上競技場で開催される陸上記録会に向け、早朝や体育の時間を通じて、100M走、400Mリレー、800M走、走り高跳び、走り幅跳びの練習に取り組んでいます。

先日、北九州市の実業団でアジア大会や国体で活躍した選手や監督の方に来ていただき、走り方教室を開催しました。

走り方教室では、最初に足の上げ方、腕の振り方など基本的な走り方を指導していただきました。その後、各種目に分かれてそれぞれの種目で大切にするポイントを分りやすく具体的に教えていただいたことで記録を伸ばすことができました。最後に本番では、代表として競技に出場する選手と応援する子どもたちが一つになって頑張っていました。



障がいのある方との交流（4年）

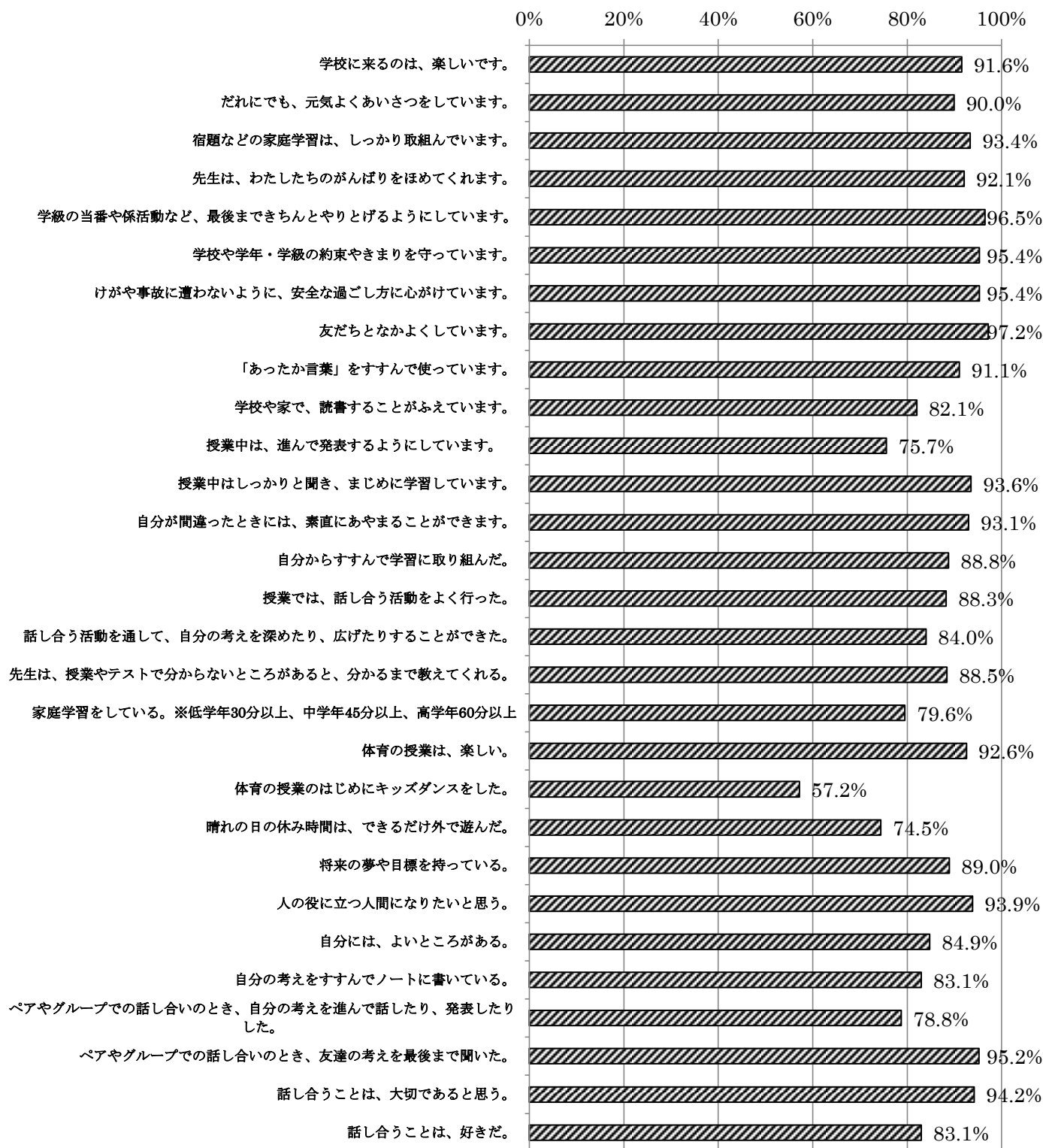
4年生は、毎年、総合的な学習の時間で福祉について学んでいます。手の不自由な方、目の不自由な方といった、体に障がいのある方と交流を行っています。

先日は、手の不自由な方と交流しました。手の代わりに足が自由に使える様子に子どもたちは驚いていました。また、日常生活の様子についても聞くことができました。

子どもたちは、交流を通して、障がいのある方への理解を深めることができました。



H30生活&学習アンケート（1学期）



7月に、子ども達へ1学期の生活や学習の様子についてアンケート調査しました。グラフは4段階評価で「だいたいあてはまる」「よくあてはまる」と答えたものの割合を表しています。上位3項目は、「友だちとなかよくしています97.2%」「学級の当番や係活動など、最後まできちんとやりとげようとしています96.5%」「学校や学年・学級の約束やきまりをまもっています95.4%」「けがや事故にあわないように、安全な過ごし方にころがけています95.4%」でした。下位3項目は、「体育のはじめにキッズダンスをした57.2%」「晴れの日の休み時間は、できるだけ外で遊んだ74.5%」「授業中は、進んで発表するようにしています75.7%」でした。

この結果を、2学期以降のよりよい学校運営に役立てます。